

第38回 樹木医対象講座 リモート配信講座プログラム

テーマ：「史跡・お城の樹木管理」

開催日時：令和8年9月12日（土） 13:00～16:30

日本各地のお城や史跡公園の樹木管理に携わっている樹木医さんは多くいらっしゃいます。城址公園やお城の樹木管理は、一般的な公園や街路樹の管理とは異なり、歴史的建造物（石垣や遺構）への影響を考慮しながら、景観美を後世に残すという非常に高度な役割を担っています。

これらの樹木は高齢化している上に、多くの観光客が訪れ踏圧被害を受けるような場所です。その上、樹木治療を行おうとすると、掘削の制限や現状変更の許可申請など、苦労することが多くあります。

今回は高度な対応が求められる「史跡・お城の樹木」をテーマとし、名所の維持管理に携わっている樹木医さんに登壇頂きます。そして、どのような対策や維持管理を実施されているのかについてお話頂きます。

主 催：（一社）日本樹木医会大阪府支部、NPO おおさか緑と樹木の診断協会

開催日時：令和8年9月12日（土）13:00～16:30

開催方法：Zoomでのリモート開催

樹木医 CPD：3単位申請中

対 象：日本樹木医会所属樹木医、NPO おおさか緑と樹木の診断協会員

参加費：無料

○リモート(Zoom)参加者の申し込み方法：次よりお申込みください（定員 100 名）

<https://kokc.jp/e/5f92bcd965586d6237e0fdbaf1a588a3/>

***申し込んだが都合が悪くなり参加できなくなった場合は、申し込みサイト「コクチーズ」より、「キャンセル」の手続きをお願いします。**

定員オーバーとなり参加できない方が発生しています。申し込みをキャンセル頂ければ、参加枠が増えますので、お手数おかけしますが、参加できなくなった場合はキャンセル手続きをよろしくお願い致します。

＜プログラム＞

(＊Zoom への入室は 12:50 過ぎからとなります。)

13:00 - 14:00 【講座No.87】

「史跡高松城跡 玉藻公園の管理運営に携わって」

香川県の高松城は瀬戸内海の海水を堀に引き込んだ日本三大水城として知られており、高松城跡は国の史跡指定を受けています。樹木にとっては塩風害や強風などの厳しい環境下にあります。高潮で枯死・衰退した桜の再生「桜樹林復活プロジェクト」や園内に 1100 本植わる松の管理について、さらに工夫を凝らしたイベントなど公園運営についてもお話頂きます。

香川県支部 おか かずひろ 岡 一洋 樹木医 (15 期生)

14:10 - 15:10 【講座No.88】

「高田城址公園桜長寿命化計画 ～新潟県樹木医ネットワークの取り組み～」

新潟県上越市にある高田城址公園では、日本三大夜桜で知られる約 2,000 本の桜や約 5,000 本の低木（サツキ・ツツジなど）を維持するため、豪雪地帯特有の冬囲いや、市民協働の「桜長寿命化計画」に基づく専門的な樹木管理が行われています。新潟県樹木医ネットワークと桜長寿命計画との関わりにより、素晴らしい桜の名所をどのように維持してきたかについてお話頂きます。

新潟県支部 おおはし ただひろ 大橋 忠弘 樹木 (13 期生)

15:20 - 16:20 【講座No.89】

「史跡和歌山城での樹木調査・管理とのかかわり」

和歌山城は国の重要文化財、史跡、名勝庭園などがあり、和歌山市の文化財で、都市公園や観光資源の役割も持っています。文化庁、和歌山市、歴史家、造園、大学などの関係者により「樹木管理計画書類」が策定され運用されています。和歌山県樹木医会では、城内の樹木調査に始まり、サクラ剪定時立会・指導等を実施されています。和歌山県支部の維持管理に関する取り組みをお話いただきます。

和歌山県支部 うちこし み ゆき 打越美由紀 (21 期生)